

# 第27回全国在日外国人教育研究集会・神奈川大会にご参加を！

## 多文化共生社会にむけて、学校や地域での教育実践を交流しよう

二〇〇四年末現在、日本の外国人登録者数は二〇〇万人に迫り、一五年の間にその数は約二倍へと急増し、その人たちの出身も多様化しています。また、一九八五年の国籍法の改正や近年の在日コリアンなどの日本籍取得・国際結婚の増加などによって、外国につながる人々を持つ人々の数も増えています。グローバル化、少子・高齢化が進行する中で、日本は多民族・多文化社会への道を確実に歩みはじめています。そして、その動きをサポートする行政やNGOのとりくみも広がりを見せています。

その一方で、多民族・多文化共生社会の実現には、多くの課題が残されています。教育にかかわる課題に関しては、在日コリアンの子どもの多くが、いまだに通名(日本名)を名のって生活をしており、北朝鮮パッシングが続く中で、民族学校の子どもたちに対する暴言・暴力事件も起こっています。また、新しく日本にやって来た子どもたちについては、受け入れ体制・日本語学習・学習支援・進路保障などの課題が、山積しています。在日外国人の子どもたちに対する総合的なとりくみが、今強く求められています。

私たち全外教は、一九七九年の第一回大会以来、在日コリアンの子どもたちへの差別と排外意識を克服し、進路を保障するとりくみを出発点にして、在日外国人と日本人の子どもたちの自立と連帯の場づくりを積極的に保障する運動や実践を進めてきました。その中で、私たちは、歴史を知ること、子どもたちや保護者の思いを知ること、子どもたちをつなげていくことの大切さを学んできました。そして今、全外教大会の在日外国人生徒交流会には、一〇〇名をこえる生徒たちが集い、交流を深め、友情や連帯の絆を強めています。

神奈川での全外教大会の開催は、今回で三回目となります。神奈川では一九七〇年代より、NGOを中心とする反差別・人権確立、在日外国人支援のとりくみが、地域での活動を中心に活発に進められてきました。学校や教職員もそのとりくみから多くのものを学び、在日外国人の子どもたちを前にした学校現場での実践に活かしてきました。今回の神奈川大会では、これまでの神奈川の多様なとりくみを振り返りつつ、これからの多文化共生教育についての積極的な提言を行っていきたいと考えています。

多くのお待ちしております。



2005年11月 クロスワールド

- 日程・内容 2006年
- 8月19日(土)  
フィールドワーク  
横浜コース  
ヨコハマ=ハギハッキョ見学など  
川崎コース  
桜本地区など
  - 8月20日(日)  
開会行事と地元特別報告  
エポックなかはらホール  
(川崎市中原区上小田中6-22-5)  
全国交流会  
エポックなかはら大会議室
  - 8月21日(月)  
分科会と閉会全体会  
法政大学第二中・高等学校  
(川崎市中原区木月大町6-1)
  - 8月19日(土)~20日(日)  
生徒交流会  
横浜市野島青少年研修センター  
(横浜市金沢区野島町24-2)
- 参加資料代  
4,500円(フィールドワーク、全国交流会参加費は別途)
- 申し込み  
4月以降、「開催要項」の申込用紙にて

主催：全国在日外国人教育研究協議会、第27回全国在日外国人教育研究集会神奈川大会現地実行委員会

後援：神奈川県、神奈川県教育委員会、横浜市、横浜市教育委員会、川崎市、川崎市教育委員会

連絡先：第27回全国在日外国人教育研究集会神奈川大会実行委員会 〒220-8566 横浜市西区藤棚町2-197 高校教育会館 南 重行 tel:080-5072-8156, e-mail:minami.s@f4.dion.ne.jp